

〈報道発表資料〉

教育総務部文化財保護課

担当 課長 高山

直通 048-997-6666

E-mail:bunkazai@city.yashio.lg.jp



第46回企画展「疫病と向き合う人びと」

3月13日（日）まで、八潮市立資料館（八潮市南後谷763-50）において、第46回企画展「疫病と向き合う人びと」を開催しています。

1 開催の目的

新型コロナウイルス感染症の流行により大きな転換点を迎えている今、本企画展で疫病の歴史を振り返り、疫病について改めて見つめなおす機会とすることを目的として開催します。

2 内容

八潮市内に残る天然痘（疱瘡）、コレラ、インフルエンザ等の感染症への対応の記録を中心に、疫病の歴史を振り返ります。新たに収集した新型コロナウイルス感染症に関する資料も含めて、約140点の資料を展示します。

3 関連事業

(1) 担当職員による展示解説

第1回 1月29日（土） 午後2時～3時

第2回 2月20日（日） 午後2時～3時

定員 各回15人（要申込）

(2) 資料館講座「疫病に関する古文書を読む」

2月27日、3月6日・13日（各日曜日・全3回）

午後1時30分～3時30分

定員 20人（要申込）

※展示解説および講座の申し込みは、窓口または電話で資料館へ

4 添付資料

・第46回企画展チラシ

第46回企画展

疫病と

向き合う

人と

令和4年

1月22日(土)

▼3月13日(日)

【開館時間】午前9時～午後5時

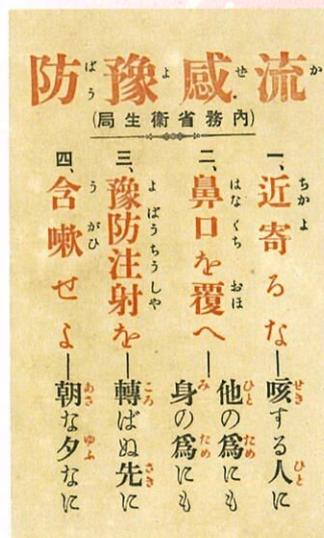
【休館日】月曜日、2月12日(土)、2月24日(木)

【入館料】無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定を変更する場合がございます。



薬品箱



流感予防

【関連事業】

- 展示解説会 1月29日(土)、2月20日(日)
いずれも午後2時～午後3時
申込は1月14日(金)から電話にて受付。各回先着15名。
- 資料館講座 「疫病に関する古文書を読む」
2月27日(日)、3月6日(日)、
3月13日(日)
いずれも午後1時30分～午後3時30分
申込は2月15日(火)から電話にて受付。先着20名。

疫病と向き合う人びと

第46回企画展

プロローグ 見えない病と闘う

人びとは未知の見えない病を鬼や悪霊がもたらしたものと考えることで恐怖心を解消しようとしてきました。病の可視化、時には祈りの可視化により、病を遠ざけようとしたのです。



インフルエンザ之像『国民新聞』第106号
(明治23年5月17日)より

エリア 1 疫病と信仰

疱瘡や麻疹といった疫病が流行し、病を克服する知識が現在と比べて少なかった時代もありました。その時人びとは村や家へ疫病が入り込むことのないようにまじないや祈祷、祭礼を通して防ごうとしてきたのです。



二丁目の獅子舞

エリア 2 「衛生」の誕生

コレラは幕末から大正初期に繰り返し流行し、多くの犠牲者を出しました。不衛生が原因で起こったこの伝染病をきっかけとして、人びとの間に「衛生」の概念が誕生しました。



コレラ予防の心得

エリア 3 近現代の医療

伝染病の原因が次第に明らかになるにつれて、治療や予防などの医療は進歩していきました。隔離による治療やワクチン接種などの医療行為は、新型コロナウイルスに見舞われている現代にも通ずるものがあります。



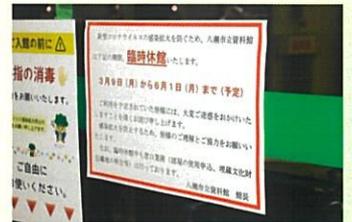
キンチョール



薬品瓶

エピローグ 新型コロナウイルスと向き合う

約2年向き合ってきた現代の疫病「新型コロナウイルス」。資料館ではこの歴史を後世に伝えるため、関連する資料を収集してきました。先人たちが今を生きる私たちへ記録を残したように、今度は私たちが未来へ託していきます。



臨時休館のお知らせ

八潮市立資料館

〒340-0831 埼玉県八潮市大字南後谷 763 番地 50
TEL 048-997-6666 FAX 048-997-8998

詳細はHPへ↓



東武スカイツリーライン草加駅東口より徒歩 25 分
東武スカイツリーライン草加駅東口よりバスで手代橋バス停下車徒歩 5 分
つくばエクスプレス八潮駅北口よりバスで後谷住宅前または南後谷バス停下車徒歩 3 分

